

横田基地における人員降下訓練の実施について（口頭要請）

- これまで訓練情報の早期提供を何度も求めているが、今回も訓練直前の情報提供であり、周辺住民への周知が十分に行えないことから、改めて、訓練情報の早期提供を徹底するとともに、可能な限り詳細な訓練情報を提供すること。
- 現在、東京都では新型コロナウイルス感染症に関するまん延防止等重点措置がとられており、周辺住民は長期にわたる外出自粛等によるストレスを抱えていることから、航空機の飛行等による騒音の発生について最大限の配慮をすること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 訓練従事者に対して、安全の重要性を認識させるとともに、基地外に影響を及ぼさないよう、安全対策に万全を期すこと。特に、使用する航空機及びパラシュート、装備品等の使用器材等の安全確認は徹底して行うこと。
- 必要最小限の機数及び人員での訓練を実施すること。

令和3年7月5日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー J. キャンベル 大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	杉浦裕之

幹事 武蔵村山市長 山崎泰大